



次世代シーケンサー (Illumina および Solexa) のデータをもアセンブル可能 MacVector®11 リリース開始

米国 MacVector 社は、この度、同社製遺伝子配列情報解析ソフトウェア MacVector の最新版であるバージョン 11.0 を発表しました。MacVector11 は、最新の Macintosh (MacOSX10.4 以上で動作するすべての PowerPC および Intel Mac) に対応した Macintosh 専用のデスクトップタイプの解析ツールです。今回のバージョンアップは、昨年5月にリリースされました MacVector10 に続くメジャーアップグレードとなります。今回は、MacVector 本体の機能アップに加えて、オプションプログラムである Assembler が次世代シーケンサー (Illumina454 および Solexa) 対応となっており、FastQ フォーマットを読み込むことが可能となりました。

国内の保守契約継続中のユーザーには、アップグレードとして近日中にお届けできる予定です。

30日間の無償トライアルにて、その機能、使い勝手を是非ご体験下さい。

MacVector11 のエンハンスメント

- ◆ 配列エディタとアセンブリデータのメニュー選択画面を一新しました。より簡単に解析メニューが選べるようになりました。
- ◆ また、頻繁に行う解析メニューを上記のエディタに直接表示させることができるようになりました。
- ◆ 新しく入手した配列データの FT (フィーチャー) の情報をプライベート DB の配列に一挙に反映させることができる Auto-annotation 機能が加わりました。
- ◆ 配列データの解析結果を統合しました、テキストや画像の結果を見るだけでなく、出力ファイルの作成も簡単に行えるようになりました。
- ◆ シーケンサーのクロマトデータから、マルチプルアラインメントなどの解析が直接できるようになりました。
- ◆ Assembler (オプション) が、次世代シーケンシングデータ (Illumina および Solexa) を利用できるようになりました。
- ◆ 制限酵素切断解析で得られた flat/cohesive-end の断片を利用して、切り出し/ライゲーションのシミュレーションが簡単に行えるようになりました。
- ◆ 配列データのスプライシング情報も同様にシミュレーションをすることが可能になりました。
- ◆ マルチプルアラインメントの結果から各ポジションにおける塩基の出現頻度を示す transfac データを出力できるようになりました。

30日間の無償トライアルライセンスは、以下のお問い合わせフォームよりお申し込み下さい。

<http://www.ceresbio.co.jp/formmail/formmail.php>

- ◆ MacVector 本体プログラムに関するエンハンスメントの詳細は以下をご参照下さい。

http://www.ceresbio.co.jp/news/pdf/MV11_Release_Notes.pdf

- ◆ Assembler (オプション) プログラムに関するエンハンスメントの詳細は以下をご参照下さい。

http://www.ceresbio.co.jp/news/pdf/Assembler_Release_Notes.pdf

MacVector に関するお問い合わせは。

セレスバイオサイエンス株式会社

〒335-0021 埼玉県戸田市新曽 1623-1 ツインコート北戸田 209

TEL 048-424-3146/FAX 048-424-3148

Email: sales@ceresbio.co.jp

HP <http://www.ceresbio.co.jp>